

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	感染対策も忘れずに今後もご利用者様、家族様、地域の皆様との絆を深めていきながら、色々な行事に参加し、取り組んでいきます。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の方への認知症の理解や支援の方法などの共有があまりできておらず、職員への研修で認知症の理解を学べる環境を整え、ご利用者が地域の一員と感じながら、生活をしていただけるように考えていきたい。	地域の行事に参加していけるよう情報共有を聞きながら生活していけるように努めていきたい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議も定期的行っており、意見交換をする場が増え皆様から頂いた意見をもとにサービスの見直しを今後もしていきたいと感じます。家族様への毎月の近況報告も行い、面会制限もなく、色んな意見を頂き、参考していきたい。	だんだんと外出も出来るようになり嬉しく思っています。運営推進会議で顔を合わせて話が出来るようになったのはわかりやすくていいと思う。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議や報告書としてイベント等はお伝えしていますがまだまだ事業者の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝え、関係を築いていきたい。	行事やアピールポイントを載せた事業所便りを作成し色々なところに知ってもらうことが大事だと思う。積極的に発信していくと周知されやすく関係も築ける。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	拘束や虐待については実例を交えて定期的に勉強会や研修実践を行い実践に活かしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	同上		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	後見人制度や権+E44利擁護の対象になる方が見えず関係者は個別に対応しているに留まっている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時には一つ一つの項目を丁寧に説明しながら疑問点や不安なところを確認しながら進めている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	玄関に家意見箱を設置し実名・匿名どちらでも記入してもらえ意見用紙を常備している。利用者様には会話の中からしたいことをみつめていきたい。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者が対処可能な意見や提案は反映されることができる。年に一回夢会議を行い、現場の意見が経営者に届くような制度がある。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会社として福利厚生や給料面での向上をしている。管理者ホーム長が面談を行い、対応している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社内研修・毎月の研修・外部の研修を管理者以上の役職は定期的に法人内の研修やトレーニングに参加している。職員もコロナ対策で控えていた外部の研修にも参加していく予定		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の同業者とは年に1回の施設部会に参加する程度にとどまっている。事業所単位では他地域のグループホームがたくさんあるのでオンライン等での交流・勉強会を行っている			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な利用者には家事やレクリエーションのお手伝いをお願いし生活を共にしていると感じながら過ごして貰えるよう、手伝いが難しい利用者にも一緒に考えて貰ったり会話から生活感を持ってもらえるような働きかけを行って共同生活の場を実感してもらっている			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍だったため外部との接触もなく今後は馴染みの人や場所も 高齢化に伴い関係や記憶も途切れていることが多いが思い出の場所へのドライブや日々の会話から記憶をたどって回想療法的な働きかけを行っている	年に1回 地域の文化祭として市民センターで作品の展示がある 作者の名前も掲示されているので 知った名前を見つけることが出来るかもしれない。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症状が進むにつれて 思いや希望をお聞きするのが難しくなっているが 日々の関わりの中で 会話や表情の変化を見逃さず 本人本位の生活が送れるよう努めている			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者がどうしたら よりよく暮らせるか 本人から希望が聞けないことが多く 主治医や福祉用具専門員の助言、家族からの聞き取りや、職員会議にて様々な方向からの情報を寄せながら よりよく暮らすためのアイデアを反映しながら介護計画を作成している	最近は エンディングノートや終末に向けての本人の意向を早いうちから 書き留めておくツールが色々出ている 家族を巻き込んで 本人から意向を聞いて貰うとか このようなツールの存在を知らせておくことも良いのではないかな？	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度よりタブレットを使った記録に随時切り替え予定 記録方法の統一化で より情報の共有がしやすく 実践に反映できると期待している		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	留守を守る家族にも状況の変化や 違ったニーズが生まれることがある 時には自宅に訪問し 本人や家族についての支援の相談やサポートが出来るよう柔軟に対応している	自宅にまで 出かけて行くのは よい考えだと思います		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地区市民センターでの掲示や 自治会からの情報提供を受け 地域資源の把握に努めている 特に当ホームは本社が関東にあり 施設の保全業者等の情報が少なく 民生委員様より地域の情報を頂き 必要のある時に迅速な対応が可能になり 安全な環境整備を整える事が出来ると期待している	民生委員の集まりが定期的にあります その時に新しい情報や意見の交換をしています なにか有益な情報があつたら知らせるようにします		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時にホームと連携の取れる医師の案内を行っており 希望される方はかかりつけ医に指定してもらっている これまでのかかりつけ医を継続される場合は 新たにホームの方から連携を取れるよう働きかけを行っている			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者が入院されても 面会制限があつたりと 会いに行くことが難しいので 病棟には普段の様子や 注意してほしいことなどを伝えるようにしている ソーシャルワーカーとは病状の経過や退院に向けた情報の提供を定期的に貰っている		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化や終末期のあり方については入居時にホームとしての指針等書類にて説明し 納得されたうえで希望を聞いている 入居者の状態に変化があつたときは 主治医も含め、家族と話し合いながらあたためて方針を決めていく		A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変や事故発生に備えて フローチャートを用意し 対応の統一化を図っている			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	緊急避難の必要がある時の為に 常に最新の情報の収集に努めている 避難訓練も火災・地震・水害をその都度想定し 訓練を行っている	市や県・消防のホームページに 災害が懸念される事態に備え 情報をリアルタイムで発信しているサイトが開かれています 何かあったときの判断材料になるかもしれません 一度検討されてはいかがでしょうか？	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシー、特に排泄や身体の事、家族様の事には 注意を払いながら支援している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム全体での 大まかな日課はあるが それにこだわることなく 本人の希望や意向を大切にしている			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームの畑で採れた野菜を食材として利用している 一緒に収穫し野菜にまつわる会話で話題を広げながら調理して頂いている メニューは各人の誕生日、季節の行事等には 食べたいものをリクエストしてもらい楽しんでもらっている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人の食事量は毎食記録し 職員間で共有している 食事形態は各自の咀嚼や嚥下力に合わせて提供している			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後 口腔ケアの支援を行っている 利用者は 自力で歯磨き、うがい 介助の必要な方 それぞれである 義歯を使っている方は夜間に預かり清潔にして翌朝、返却している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自発的にトイレに行けない方は 時間を決めて声掛けや 一緒に行く等の支援を行っている 便秘の傾向にある方は なるべく薬に頼らずヨーグルトやオリゴ糖・乳酸飲料の摂取で予防や改善に取り組んでいる		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴は 職員体制の充実した時間帯にお願いしているが その日の気分で予定をずらしたり 柔軟に対応している			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者は自由にホールと自室を行き来しており 休息を取ったりテレビを見たり 他者との会話を楽しんでいる 寝具は定期的に、汚れがあればその都度洗濯や 陽に干して清潔に保っている			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	処方薬の管理は調剤薬局が行い 服薬時は職員間でダブルチェックした後 服薬の介助を行っている 利用者がどのような薬を処方されているかは 薬剤情報にて確認している		A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	役割を持って 日常の家事を手伝ってもらうことで 張り合いや、やりがいに繋がるよう 職員からは常に感謝の意を伝えるようにしている これまで好きだった嗜好品は可能な限り継続できるよう支援している	季節ごとのイベントや楽しみは大事なこと 機会を見つけて実施してあげてください		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームには小さな畑があり 気分転換に日光浴や畑の水やり等行ってもらっている 外出について希望をされることがめっきり少なくなっているが 季節の移り変わりや景色を楽しんでもらえるよう 花見やドライブを計画している	同上 ※来年2月には近くで花火が上がるので ぜひ見せてあげてください		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お金を持つことの大切さは理解できているが紛失や物盗られ妄想の悪化が懸念され 一括してお預かりしているのが現状 今後買い物等に行った時には可能な限り自分で支払いをしてもらえるよう支援していく			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話の希望があれば 自由にかけてもらっている また家族より手紙が届くこともあり 一緒に読んだり部屋に飾ったりして喜ばれている 年賀状は毎年出している			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	建物は全館バリアフリー、必要な場所には手すりがついている 共用のトイレやお風呂には一目でわかるように工夫をしている 大きな壁には季節に合った飾りつけや 利用者の作品を掲示して季節感を感じてもらっている		A 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症の進行とともに ご本人自身から思いや願い 意向を直接伺うことは難しくなっているが 言葉の端・表情など本人から発せられるサインを見逃さず、その情報は職員全員で共有し意向に沿った日々の暮らしを支えている			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前より自宅を訪問し暮らしぶりを見せて頂いたり ご家族に生活歴や趣味嗜好を詳しく伺ったり 利用しているサービスにも情報をもらったりしながら よりよいケア・支援を提供できるよう努力している			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常の健康管理は主治医に委ねられている環境面は設備的に至らないところもあるが工夫しながら支援している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者は 自分のペースで過ごされている在宅時の習慣があれば継続できるようにサポートしている			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各自の居室は 自由にレイアウトされており入居前からなじみの物大切なものは出来るだけ持ってきてもらえるよう呼び掛けしている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ以降 外出の機会が減っていき また入居者本人も心身機能の落ち込みが目立ちなかなか外出の希望が聞けなくなっている職員の方から まずはなじみの深い行事や場所に誘っていきたい	地域の催しの案内は その都度お知らせしますので 出かけて来てください		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居して時間の経過とともに出来る事やわかることも少しずつ減ってきているが その時出来る事 わかることを見極め 利用者にはたらきかけている			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は会話の持つ重要性を理解しており 楽しく会話しながらの活動場面を提供できるように努力している		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域でご協力を頂いている方々のお宅と一緒に伺い 連絡物を持って行ったり 散歩の途中で会う近隣の方と季節のあいさつを交わしたりの交流はできている	近くの公園で毎日ラジオ体操を実施していますが 早朝なので関りを持つのは難しいと思います 犬の散歩などもされているので その時に会話を持てればいいですね		
49	総合	本人は、このGHIにすることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームには年配の職員も多数在籍しており 会話の話題や内容も共通なことも多い 小さなコミュニティではあるが楽しく会話がはずみ 皆が親しみを持って生活できるGHを目指していきたい	回想療法を用いた会話や道具を使っでの働きかけも かなり有効と思います 包括の方でも出前講座を行っていますので 声をかけてください	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	